

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（50） 学校名 豊田市立五ヶ丘小学校

1 テーマ

ふるさと五ヶ丘に学ぶ ～地域に学び、ふれあい、活動する子の育成～

2 ねらい

- ・様々な体験活動の充実を図り、地域の人々との交流や異年齢集団とふれあう活動を通して、互いを思いやることのできる豊かな心の育成を図る。
- ・自分を取り巻く環境に目を向けさせ、地域の一員としての自覚を高めるとともに、自然や命を大切にすることを養う。
- ・学校行事（運動会・学習発表会）を児童たちが自らの手で創り上げようとする活動を通し、児童の自主性を育て、充実した学校生活を送ろうとする意欲を高める。

3 活動内容

- ・地域の方から学び、交流する活動（昔の遊び体験、ものづくり体験）
- ・異年齢交流を通して、他を思いやる心の育成を図る活動（ファミリー活動、1年生を迎える会、サツマイモの栽培・収穫、6年生を送る会・縦割り班お別れ会）
- ・地域の人材を活用し、各教科、領域等の学習を充実させる活動の活用（書写ボランティア・本の読み語りボランティア）
- ・栽培・飼育活動、環境保全など、地域の指導者を講師にして学ぶ活動（花や野菜の栽培（全学年）、ホタル学習（6年））
- ・自他の命を大切にすることを育む活動・健康の保持・増進に関わる活動（学校保健委員会、いのちの学習、学習発表会）
- ・学校行事、児童会活動を通して自主性を育てる活動（運動会、学習発表会）
- ・環境整備・地域と連携した活動（五ヶ丘ランド・学校菜園・学校の森・運動場整備、親子クリーン活動）

4 成果と課題

- ・予定していた行事や体験学習はほぼ実施することができた。交流活動では、活動内容を工夫し、思いやりの心を育む活動ができた。
- ・6年生はホタル学習会で地域の蛍友会の方々から蛍の生育環境や成長などについて学び、年間通じて蛍を幼虫から育てる活動を継続して行った。ものづくり体験（ものづくりクラブ、1、2年飛び出すカード作り、3年風で走る車）学習では、子どもたちにとってよい体験の場となるばかりでなく、地域の方々と交流することで、地域の人々や講師の方への感謝の気持ちを高めることができた。また、地域ボランティアの方や保護者の方からも、「子どもとふれ合うことができてよかった、子どもの様子を知ることができた、今後も協力したい」との声があった。
- ・「いのちの学習」後の子どもの振り返り用紙に、保護者への感謝の気持ちや生きることの大切さが書かれており、自己肯定感を高め、自他の命を大切にしようとする心を育むことができた。
- ・保護者アンケートでは、本事業の取組に対して、地域講師の支援を受けた活動など、発達段階に応じた活動から学ぶことができていると評価する声が多くあった。
- ・校内整備員の配置により、年間を通して計画的に環境整備が行われ、改善が図られた。また、教職員の負担が軽減し、校務の効率化が図られた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを毎日更新し、各学年の取組の様子、特色ある学校づくり推進事業に関わる活動の様子を紹介した。
- ・学校だより「赤門」で本事業の取組を紹介した。
- ・学習発表会で特色ある学校づくり推進事業に関わる総合的な学習の時間で学んだことについての発表を行った。（3年・5年）